

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道ビジョンフォローアップ調査費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	水道ビジョン				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本調査では、見直しの必要がある水道ビジョンへ、①経済最適化を目指した老朽施設の更新に向けた戦略的対策の検討、②経済最適化を目指した水道施設の耐震化向上へ向けた新たな促進策の検討、③水道システムにおける省エネルギー化推進策の検討を中心に、今後の社会情勢の変化を踏まえ、現状調査・分析、必要な対策・施策の明確化を行い、新たな施策目標として反映させる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	以下の3項目を中心とした現状調査・分析、及び対策・施策のとりまとめ ①経済最適化を目指した老朽施設の更新に向けた戦略的対策の検討 ②経済最適化を目指した水道施設の耐震化向上へ向けた新たな促進策の検討 ③水道システムにおける省エネルギー化推進の検討							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		22	12			
		繰越し等						
		計		22	12			
	執行額			19	11			
	執行率(%)			86.4%	91.7%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (33年度)
	都道府県別地域水道ビジョン策定率		成果実績	-		84	86	100
			達成度	%		100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	新水道ビジョン検討委員会の開催		活動実績 (当初見込み)	開催回数	- (-)	3 (-)	10 (10)	- (-)
単位当たりコスト	1,066(千円/回)		算出根拠	執行額/新水道ビジョン検討委員会開催件数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	水需要が減少し、水道料金収入も減少し続けている中で、東日本大震災後、水道施設の耐震化のニーズもより高まり、より経済的に更新・耐震化を行う必要があることから広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国として広域的な視点で、方向性を示す必要があるため国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	新水道ビジョン策定のための検討委員会等の経費であり、定量的な成果目標を設定することができない。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	業務を実施するにあたり、総合評価入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に努めた。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	現状においても活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに合ったものになっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	検討会の報告等は新水道ビジョンの見直しに十分に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>水道ビジョンフォローアップ調査費は水道事業を取り巻く環境の変化を踏まえて、新たな課題を解決するための対応策を分析し、「新水道ビジョン」に反映させることで、水道の役割と目標を定めるための指針とするための経費であり、安全で質の高い水道を確保するために重要な事業である。H24年度においては、都道府県別地域水道ビジョン策定率も86%と増加傾向にあり、当該目的のために適切な執行が行われたと言える。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新23-013	平成24年	859

厚生労働省 11百万円

〔 調査仕様書の作成、請負業者の指導監督 〕



【総合評価入札】

A. (株)日水コン 9百万円

〔 調査実施 〕

対象外(事務費) 2百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(株)日水コン			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	人件費、諸経費、技術料	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	新水道ビジョン策定調査・支援業務	9	1	97%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					